

産科・周産母子センターに通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 妊娠糖尿病における母体の妊娠前体重ならびに妊娠期間中体重増加についての後方視的検討

[研究機関] 北海道大学病院 産科・周産母子センター

[研究責任者] 森川 守（産科・周産母子センター 助教・外来医長）

[研究の目的] もっと早い妊娠週数で妊娠糖尿病と診断できると巨大児（出生体重 4,000g）の児を減らすことができ、周産期予後を改善する可能性があり得るので、そのための新しいマーカーとして母体の妊娠前体重ならびに妊娠期間中体重増加が有用か調べ、周産期管理に役立てる。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 14 年 1 月 1 日から平成 19 年 6 月 30 日の間に北海道大学病院産科・周産母子センターで単胎分娩された日本人の妊婦さんのうち妊娠 24 週から 28 週に 50g 糖負荷試験を受けた単胎妊娠の日本人の妊婦さん

●利用するカルテ情報

妊娠糖尿病（疑いを含む）の有無、母体年齢、既往分娩の有無、分娩週数、分娩様式（帝王切開術施行の有無）、母体身長、妊娠前母体体重、分娩前母体体重、内科学的合併症（高血圧、甲状腺機能異常など）既往の有無、妊娠高血圧症候群の有無、常位胎盤早期剥離の有無、胎児機能不全の有無、出生児体重、新生児仮死の有無、新生児奇形（染色体異常は除く）、50g 糖負荷試験、75g 糖負荷試験、インスリン分泌能検査、妊娠糖尿病の治療内容、など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 産科・周産母子センター

担当医師 森川 守

電話 011-706-5678(外来)/5789(病棟)/6932(医局)

FAX 011-706-6932